

【治療家の第三の仕事】

§ 146 真の治療家の「第三の仕事」は正しいレメディを自然の病気にホメオパシー的に適用することである。(注／第一：治療のために必要なことを探求すること。第二：レメディのエネルギーを探求すること)

§ 147 患者に生じた自然の病気の全体像に対して最も類似したものが、最も適切なレメディである。

§ 148 まとめ

- ・病気とは物質ではなく”精神的なエネルギー体”が”精神的な生命原理”を支配し、攪乱したものである。
- ・レメディのエネルギーはその病気のエネルギーより勝っていること。
- ・適切なレメディを選べば、急性病は短時間で消失すること多い。
- ・より慢性の病気には同じレメディでポテンシーを上げたり、数回投与したり、より類似したレメディを選ぶことで消滅する。そして健康を取り戻す。
- ・常に変化する病的状態に対して、最適なレメディを見つけるのはとても厄介な作業である。厄介故に、手抜きや不注意な方法に陥りがちであり、うまくいかないと自ら努力をしないで、ホメオパシーの不完全さのせいにしがたがる。
- ・似非ホメオパスとアロパス批判。
- ・病気の違いや病気特有の環境に対してどんな配慮をすべきか (§ 149～§ 245)

§ 149 医原病の影響は、非常に大きな悪影響を与える。

- ・薬物によるもの。激しく作用する薬物を長期に使用した時。
- ・鉱泉によるもの。不適切な鉱泉に行った時。

§ 150 短期に患者が気づいた軽い病的症状においては、食餌療法と生活習慣を改善するだけで消失する病もある。

§ 151 病気の全体像は重い症状だけでなく、軽い症状を含むこともある。

§ 152 急性病が悪化すれば際立った症状が現れるので、レメディを見つけやすい。

§ 153 SRP だけに目を向けても良い。

SRP とは、際立った、奇妙な、特有の、異常な、まれな、特徴的な症状のこと。ありふれた症状は注目には値しない。特徴的な症状に注目すること。

§ 154 SRP が多く合致するなら、それは最適なレメディといえる。